

知名度アップ&少子化ストップ —定住促進—

笠岡市
新山公民館



地区の概要 (H,29.12.31現在)

人口 1,611人 (男756人、女855人)

高齢化率 40.4%

世帯数 746世帯

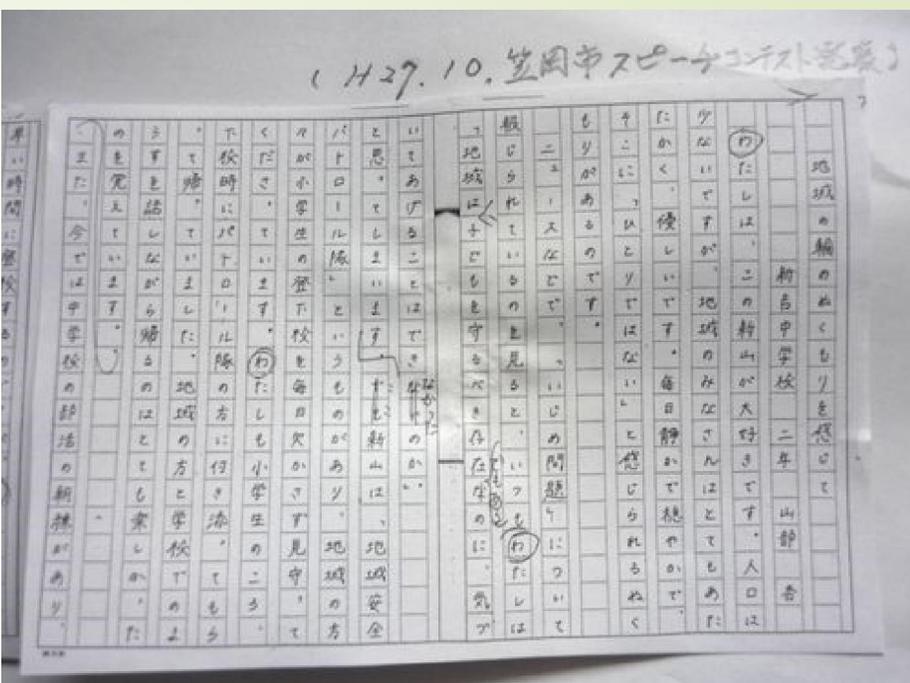
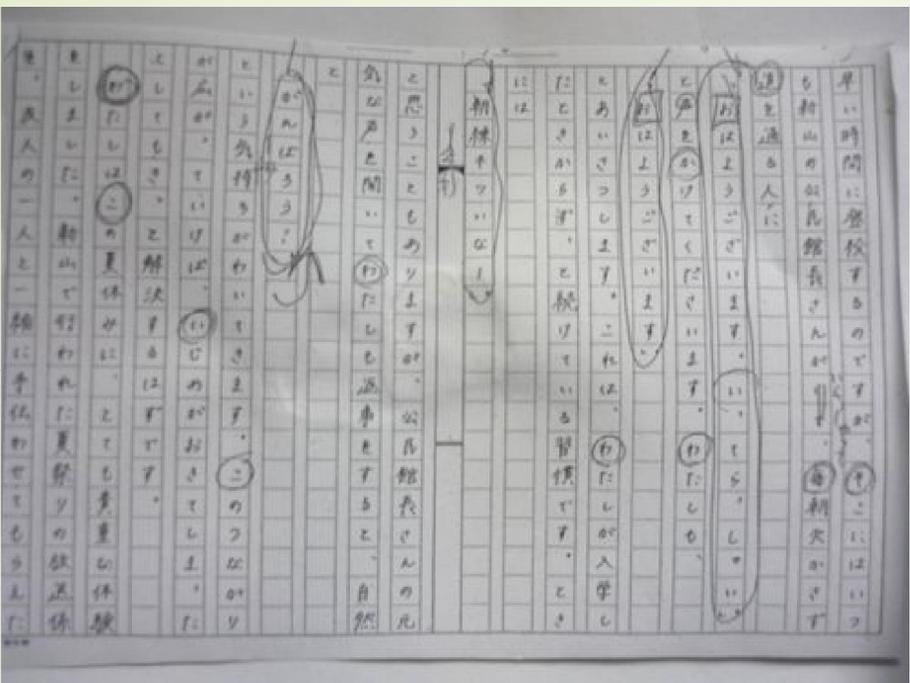
面積 8.78km²

一度は、新山に行ってみたい。
一度は、新山に住んでみたい。
いっそう、住み続けてみたい。



参加=4つの動機

- 子どもたちのメッセージ
- 岸川政之先生の講話
「高校生レストラン」
- サイクルが回る
- チーム新山(自治会)のキャプテン



地域の輪のぬくもりを感じて

新吉中学校 二年

前略

夏祭りの放送係になりました。

係りの人にしばらく休憩して
屋台をまわってきていいよ。

と言われ 今回私は

屋台の品物ではなく

それを売っている地域の

方々を見ることにしました。

するとある共通点に気づき

ました。みんな活き活きとして

活気があるのです。

中略

いつか私が新山を守り

輪をつくる立場になったとき

この気持ちを大切にして次の

世代につないでいけるように

したいです。それまでに

新山の輪を立派に守っていけ

るような人になるために

地域の活動にすすんで

取り組んでいきたいです。

地域の課題解決へ挑戦を

高2 笠岡市

「高校生ビジネスプラン・グランプリ」

に関わる中で

さまざまな形で社会に貢献して

いる大人の方々と関わりました。

いつか私を支えてくれる人たちと
肩を並べて地域に貢献すること
を夢見て、さらなる目標へ挑戦
していききたいと思います。

滴一滴

「ただの中学生だと思われたくない。まちづくりもできると大人に見せつけたい」

井原市立吉井中3年の言葉だ。

中高 大学生らが地域課題を
「自分事」ととらえ解決策を実践
するマイプロジェクトに関わる中で

「何かをしたい」と思いを持つ子供
らは各地にいる。実現のための
環境づくりが大人の責務だろう。

地域の課題解決へ挑戦を

高田友美 高2(笠岡市)

私は今年、地域の課題を解決し楽しい社会を築くために何を学ぶべきか、進路を見定めたいと思っています。

私はこれまでに各種コンテストでプレゼンをしたり、自分の住んでいる地域の活動を見て歩いたりすることを通じて、さまざまな形で社会に貢献している大人の方々と関わりました。皆さんは地元への熱意と誇りを持つ優しい方々で、高校生である私に对等な目線でアドバイスをくださり、時には厳しい意見も織り交ぜながらも背中を押してくれました。これらの経験は、元々引きこもりだった私を大きく成長させてくれました。

その結果、晴れて今月7日に東京で開催される日本政策金融公庫主催の「高校生ビジネスプラン・グランプリ」の最終審査会に進むことが決まりました。きっかけをくれた多くの人たちには感謝してもしきれません。

いつか私を支えてくれる人たちと肩を並べて地域に貢献することを夢見て、さらなる目標へ挑戦していききたいと思います。

4/30 友美

滴一滴

「ただの中学生だと思われたくない。まちづくりもできると大人に見せつけたい」

強い意志が伝わってきた。倉敷市内で先日開かれた発表会での井原市立芳井中3年・渡辺美和子さんの言葉だ。▼「過疎化が進む地域の高齢者と都市の若者が集う場づくりをしたい」と話した。渡辺さんは学校で昼休みに1週間ほど職員室前に通い、先生らに構想を次々聞いてもらい、文化祭でも発表したというから、その熱意に驚く▼発表会は「ジブンゴト学会」と名付けられ、中、高、大学生らが地域課題を「自分事」ととらえ、解決策を実践する「マイプロジェクト」を示す。中高生の支援などを行うグループ「備中志事人」が初めて開催した▼古民家を改装したカフェをつくり、にぎわい拠点とする。障害者と健常者の学生の交流。井原アニメの端切れを使う商品づくり。子どもたちの食育プロジェクト。

岡山県内外の20人余りが自分のプロジェクトを披露した▼夢物語ではなく、実際に動かしだしている活動も多い。発表を聞く大人たちは「子どもたちの自分は、そんな立派なことを考えてもいなかった」と感心することしきりだった▼活動を通じて生徒たちが地元への愛着を高め、地方創生につながる。「何かをしたい」と思いを持つ子どもらは各地にいる。実現のための環境づくりが大人の責務だろう。

2018・1・18

活動＝4つのキーワード

1.地域で協力し合う**大人の姿**

2.次世代に繋げるものは**待つとも来ない**

3.**地域の顔**が見える

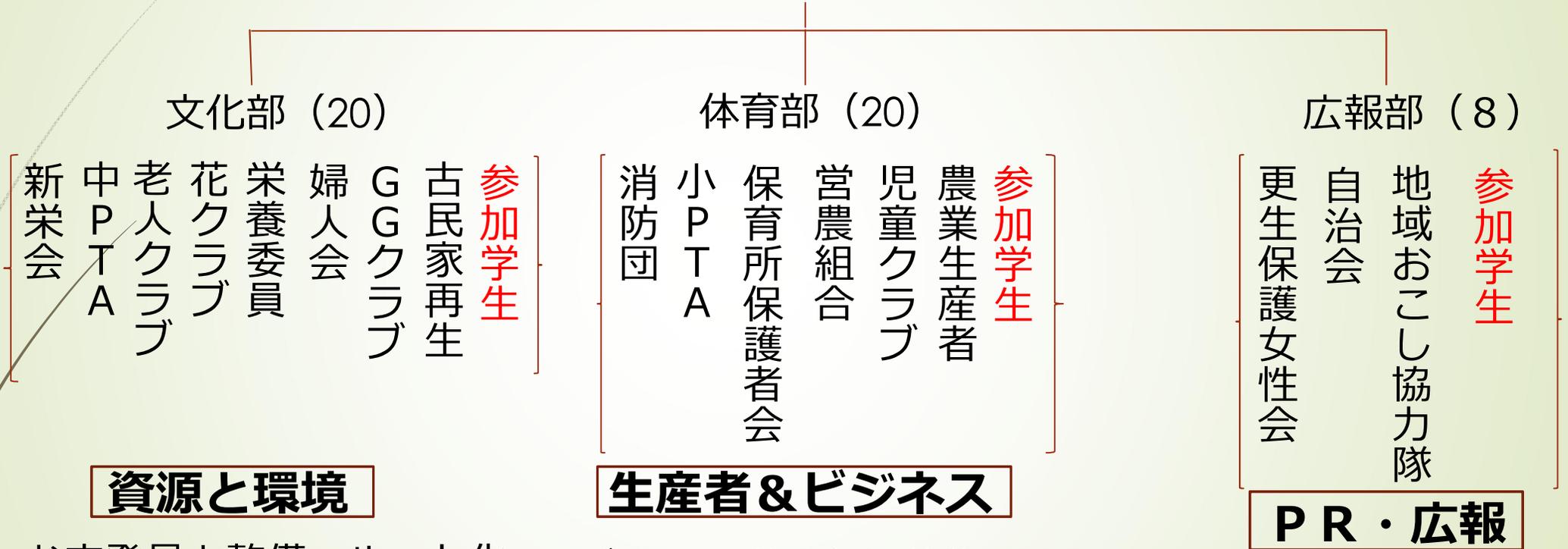
4.知れば**地域が好き**になる

地域=7つの自慢、背景

- 自治会を核にした各種団体の充実
特に青壮年団組織の意欲的な事業活動
- 各分野の施設等が存在
- 地域資源が豊富
- 学校、家庭、地域の連携
- 青少年健全育成、安全・安心活動に関心が高い
- 農耕、果樹生産が活発
- 古民家再生をはじめ、地域おこし協力隊との協働作業

プロジェクト役割分担表(案) 組織 = 実行委員会

自治会—公民館(事務局) — 参加学生
(チーム新山) (キャプテン)



資源と環境

- ・ お宝発見と整備・ルート化
- ・ 新規スポット創出
- ・ 空家、不使用宅地の調査
- ・ 安全安心まちづくり整備
- ・ 情報収集

生産者&ビジネス

- ・ ビジネス導入参加募集
- ・ 空家、不使用宅地の情報発信
- ・ 情報収集

PR・広報

- ・ 魅力資源の配信
- ・ 知名度アップ集客
- ・ 行政との連絡調整
- ・ 情報収集

(地域の現状シート)

アイラブふるさとをコンセプトに一度は行つてみたい、一度住んでみたいをイメージして、新山の知名度アップを図り定住促進につながる地域づくり、ザ・ストップ少子化を目指す。

地域＝3つのアクション理想とする姿

アクション1

- 地域内観光（魅力）資源の整理発掘と若年層向け新規スポットの創出

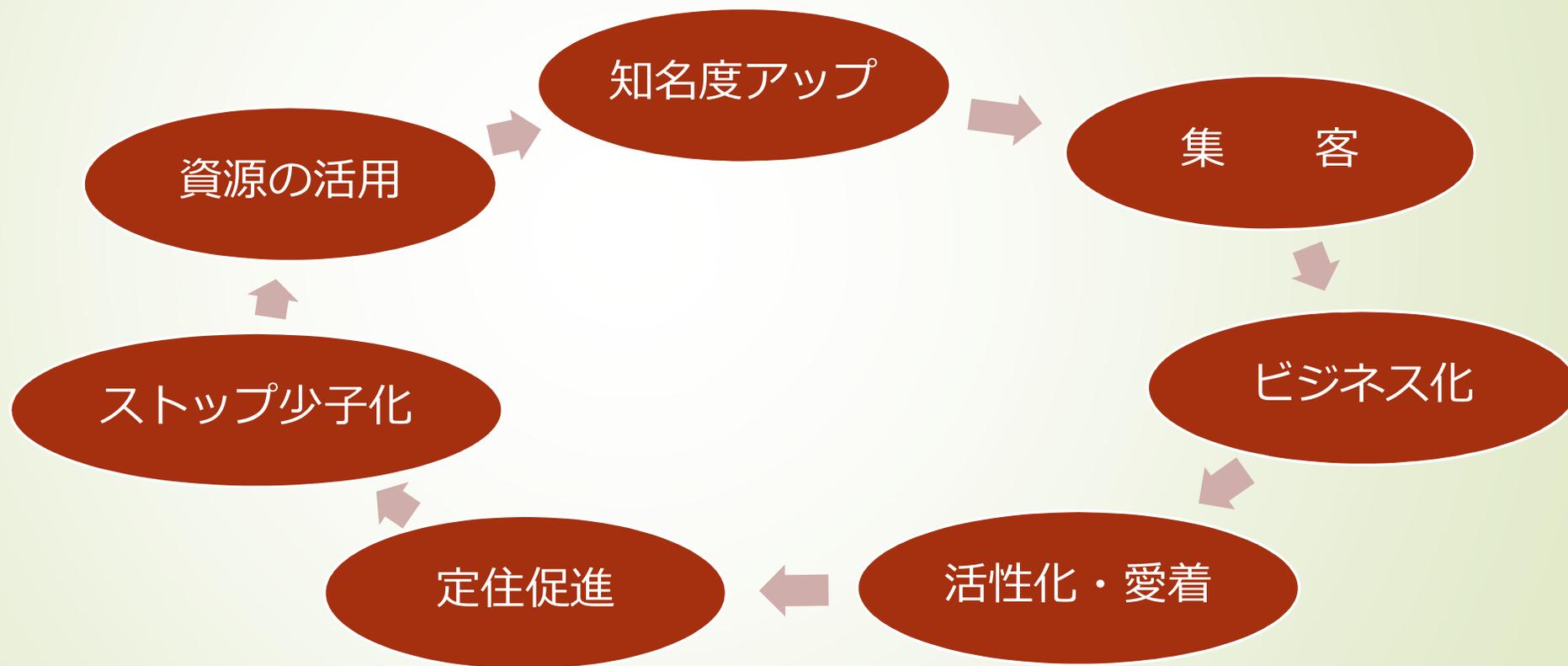
アクション2

- 観光資源の一体化、ルート化を構築してインターネット発信による集客

アクション3

- 地元農産物直売フリーマーケットを開設してビジネス化

アクションのサイクルを回す



地域 = 4つの課題

人口減少に伴う少子高齢化
小中学校統廃合現象

地元魅力(観光) 資源の活用
とビジネス化への取り組み

ふるさとへ愛着

地域外への知名度が低い



現状＝取組み

生涯学習事業、世代間交流事業の通年実施

環境整備、安全安心施策の実施

小中学校の支援ボランティア協働事業の推進、実施

青少年健全育成活動の推進、実施

地区自治会のバックアップ、PTA、青壮年層、各種団体との連携協働活動の実施

地域＝自慢できる施設、環境

- ➡ 市立北部運動公園（野球場、多目的運動場、テニス場、キャンプ場、遊具公園）
- ➡ 古墳公園・鉄道記念館・とくら屋敷（古民家再生）
- ➡ 農事法人営農組合・医療法人
- ➡ 地域おこし協力隊の活動・JA事業所
- ➡ 郵便局・駐在所・誘致企業10社
- ➡ 小学校・中学校・保育所・農面道・バイパス道
- ➡ コンビニ・ガソリンスタンド など

ご清聴ありがとうございました。°